



[飛鳥（飛鳥文化）・奈良（白鳳\*・天平文化\*\*）時代]

\*藤原京(694-710：16年間)で華咲いたのが、おらかな白鳳文化である。\* \*729年が天平元年

大和時代の後、[飛鳥時代⇒奈良時代（藤原京⇒平城京⇒長岡京）⇒平安時代（平安京）]の時代の流れは遷都とともに、政治の中心も[難波⇒河内⇒飛鳥⇒奈良⇒京都]へと徐々に移っていく。その間、大和朝廷の律令国家としての体制も徐々に形作られ、仏教伝来と共に医療文化の入ってきたことが散見出来る。また、この飛鳥時代・奈良時代は、[飛鳥文化、白鳳文化、天平文化]の古代日本の3つの文化が花咲き華やかに日本文化が形創られた時代でもある。このことから、それぞれの文化の特徴やその違いについて少しまとめてみる。